

2008年(平成20年)12月9日 火曜日

コンティグ・アイ
コア

実証プラントで火入れ式 バイオエタノール生成で

【岐阜】岐阜大学発「コンティグ・アイ」(本社 木繁三社長)などが、
環境ベンチャー、コア岐阜市正木六三二、鈴山市で建設を進めている

たバイオエタノールの「た」写真。
実証プラントが完成し、火入れ式が行われ、コンティグ・アイと大橋建設(亀山市)、日本グリーン(鈴鹿市)が三社共同で設立した営業・販売会社「トゥービー」(亀山市)の敷地内に建設。ゴルフ場



で出る刈り芝や水草など、

植物を中心としたセルロース系のバイオマス(生物資源)を原料にエタノールを生成する。十五日から、一般見学を開始する。自治体や企業から、すでに引き合いが多く寄せられているという。また、学生の社会見学などとしても利用してもら

同社のバイオエタノールは、一般に原料に用いられるトウモロコシやサトウキビなどの食品ではなく、通常は廃棄物として処理される芝や草などを原料にしているのが特徴。燃料に転換し、環境負荷を低減している。